



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2640



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

## CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長  
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1～8
2. ロータリーリーダーシップ研究会	9～12
3. 新世代月間によせて	13～14
4. クラブ委員長会議報告	15～33
5. R I 公共イメージ支援グループ アジア地域ゾーンコーディネーター研修セミナー報告	34
6. ガバナーノミネー確定宣言	35
7. 岩手・宮城内陸地震災害義援金	36
8. ガバナーエレクト田辺事務所開設のお知らせ	37
9. 新入会員紹介	38～39
10. ポールハリスフェロー・米山功労者（7月分）	40
11. ハイライトよねやま	41
12. ロータリー文庫	42
13. 出席報告（7月分）	43
14. 9月行事予定表	44

9月は新世代のための月間  
(New Generations Month)

2008-2009

9

NO.3



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 勝野 露観

猛暑の夏、8月も終わり 子供達の夏休みも終わり いよいよ行動の9月に入りました。各RCの会長・幹事の皆さん！そしてロータリアンの皆さん！この夏を無事乗り越えられた事でしょうか！？年を取って来ると、夏の熱気が身体に应えるものですね。若い頃には全く応え無かったものですが、年齢と共に暑さ寒さが身に应えるようになってまいります。よって、健康対策に十分に考慮をはらって下さい。何と言っても、先ず健康である事が最重要です。トップである皆様は、これからの残る10ヶ月、元気でバリバリと活躍してもらわないと困ります。自己管理はトップの最優先課題であります。肉体面では良き医師に、そして精神面、魂の面は良き宗教家、良きロータリーの友人に、相談して下さい。無理をしすぎ、余りにもハードに仕事をしておると、身体が持ちません。必ず心身のバランスが狂って病気を引き起こします。普段よりの心がけが大切であります。さて皆さんの年度もいよいよ3ヶ月目に入りました。7月はホップ、8月はステップ、9月はジャンプの月です。

本年の地区テーマは『ロータリーの原点に戻ろう！』であります。「ロータリーを根本的に勉強しよう！」「勉強しなごそう！」と云うテーマでもあります。ロータリアンでありながら、ロータリーの何たるであるかを知らぬと云うのは余りにも恥ずかしい事であり、余りにも御粗末でないでしょうか！？その為に、各クラブにクラブ研修リーダーをお願い致しました。目下、その研修会開催に向けて、担当のバスターガバナーが必死に頑張っておられます。もう少しお待ち願いたいと存じます。

ロータリーを生々とした、エフェクティブ(effective)なものにする為には、先ず何よりも楽しい有意義な例会にしなければなりません。例会のプログラムを工夫して頂きたい。他クラブの例会に参加する事、メイキャップする事は他クラブの例会の有り様を知りますので、例会運営に大きなヒントを得られます。例会日以前にプログラム委員長・幹事・SAAと集って、例会について話し合ってください。例会をより効果的なものとする為には、何と言っても、卓話がメインとなります。楽しいスピーチ、勉強になるスピーチは会員に納得を与えます。会員は多忙なメンバーが多いのです。忙しい中を割いて、例会に出席しておるのですから、卓話は彼等に役立つ内容である可きです。さて、ロータリーを楽しいものにするのと同じ様に、皆さんの事業所も明るい、楽しい、有意義なものにして下さい。明るくて、美しい(例:花の飾ってある)、よく整理整頓されている事業所にして下さい。又、

くよくよし、めそめそしていても現実は何ら変化しません。陰気な暗い雰囲気では、従業員の士気が落ちます。トップや上司がガミガミどなり、従業員を責めるようでは、従業員のやる気が消滅します。今の様な不景気な時であればある程、トップである皆さんの価値(ねうち)が定まるのです。皆さんの人間性が大きな影響力を持つのです。明るい、陽気な心であって下さい。これは言うのは簡単ですが、むつかしい事です。しかし、その様に努力する事が大切です。そして現実を打破する新しい進む可き道を発見して下さい。旧態然としたやり方はもう通用しません。創造的で独創的な方法、独創的な商法、方法でなければ通用しない世の中になっております。

### 〔新しい道を発見する為には〕

1. 「先ず現状分析をしっかりと徹底的にする事です。」

- ・ 自社並に自己の内容を徹底的に分析、調査すること。社内にその為の調査グループ(専門家を入れた)を作ること。
- ・ 市場調査(自社の製品の販売状況と売れなければその原因を)

2. 商品の差別化をはかる事。

独創的な商品開発！そうでなければ価格競争の地獄の中で生きていかなければなりません。

3. 技術力の向上！品質向上！

4. 広報・宣伝の重要性の認識

5. 倫理・道德の向上

以上が絶対に必要であります。

- ロータリーに於る皆さんの努力は、会長の皆さんのもとに、大きなプレゼントとなって返って来るでしょう。『最もよくサービス(奉仕)する者は、最もよく報いられる』のです。最もよく多くの人々に喜びを与えた者は最もよく多く報いられるのです。これはビジネスの基本であり、社会活動に於ける基本であり、家庭生活に於る幸福の基本であります。多くの人々に喜ばれる商品を提供するならば、それは自社の商品・サービスがより多く売れる事につながります。人々に喜びを与える理念、考えをもって社会活動をするならば、地域・社会・世間に於て、尊敬を受けるでしょう。妻や子供に喜びを与える心で接するならば家庭は円満なものとなります。しかし、その反対の行動をしている人の何と多い事でしょうか！自分の利益追求のみに必死になり、最もよく多くの人々に苦しみを与える者の何と多いことか！そしてその結果、最も悲しい現実の報いを受けるのです。当然の事です。因果応報の掟(おきて)は厳然としたものであって、如何なる者も、この掟よりのがる事は出来ません。
- 東洋に於て、古代より近代に至る迄、帝王の道を歩む者、帝の立場に在る者の、心得る可き考え方が、様々と述べられている。日本に於て奈良時代より平安・室町時代にかけて、トップ階級、指導者層、知識人達の間、非常にポピュラーになっておった、仏典

『金光明経』(コンコウミョウキョウ)の中に、帝王道について、様々と述べられています。その中に天変地異について記述してる。即ち、天変地異、即ち天災、地震、気候異常は、すべて帝王の不徳一徳のなさから生じるのである。不正治(正しく治政なしていない)だからである。それは天よりの警告であると明言しています。為政者の変更を要求する天の声であると云うのが古来の考え方でありました。仏典には中国より日本に招来されました故、中国に於ても当然この考えは行きわたっておった事と推察されます。天変地異を端初として、中国では革命が起こり、日本では反乱動乱が生じたのです。歴史上の事実です。

最近の天候異常は世界的なものであり、地震災害は様々の地区で頻発しています。温暖化現象、水不足、エネルギー危機 etc・・まさしく天変地異であります。そして更に世の不安定さと暗黒のオーラが若者達の心身の不安定さを惹起し、彼らの引き起こす多くの殺傷事件が昨今とみに増加している事をフツフツと考えていると、金光明経の一部が脳裏に浮かんできたのです。昨今の日本の有り様は、一言で言えば「異常!」であります。この異常を正しく認識して、異常を正して、正常に戻さねばなりません。今の為政者は喜ぶ可きでしょう。以前ならば暴動・反乱・デモが頻発していた事でしょうから。でも本当は悲しむ可き事なのです。しかるに異常である事を認識するには「謙虚さ」と「思いやり」が何よりも大切であるのですが、この二つが全く顧みられてない。謙虚さと思いやりの心より、反省と懺悔が生まれます。それが全く見られない。天候異常はまさしく人災であって、異常を正すには世界中のリーダーが結集して、その対策に集中的に取り組まねばならぬ緊急の必要性ある課題である。しかるに自国の利益(固益)と大企業の利益のみに固執して、対策を遅々たるものにしておる。アメリカ、中国、インドはその最たる国です。「他に対する思いやり」と「心くばり」(thoughtfulness)と「他を助けんとする心」(helpfulness)はロータリーの大切にしているモットーです。アメリカはロータリーの発祥の国でありボランティア活動の盛んな国であり、インドではロータリアンが非常な勢いで増加しています。(非常な矛盾があります。)ところが天変地異の問題ではこの二つの国は明瞭な行動を起こしていない。ポリオの問題解決も確かに素晴らしいプロジェクトであります。温暖化の問題の方が地球的規模に於て、はるかに重大な悪影響を世界中の様々の分野の人々に及ぼしている。国際ロータリー(RI)はこの重大なテーマに取り組む可きであると考えているのですが、どうでしょうか! ? 現にわが日本に於ても多くのトラブルが生じている。農作物の不作が顕著になってきておって、農家が立ち行かなくなっている。又た海面の温度が上昇している為に、赤潮が発生しプランクトンが異常発生している。その為に、海中の魚が壊滅すると云う惨状が生じておるのです。古代より近代に至る多くの人々ならば、この、この如き状況下ならば、これらの状態は為政者の不徳より生じたものと見なして、徳の有る真に人民の事を考える帝王と変わる可きであると考え、反乱、革命と行動化しておった事は間違いないことです。賢明な王はこの事を良く認識しておったので、自分の不徳を反省し土木治水の問題、人民の幸福の為に全力を盡して解決を考え、正しい方策、対策を人民と共に考えたのです。



昨今では、この様な思いやりのある、謙虚な優しい政治はどこかに行ってしまったようです。

### ●新世代(New Generation)

天の異常、地の異常は、その内に生きる人々に異常をもたらしている。そしてその影響を誰よりも早く受け、行動への移しておるのが多感多情で純粋な若者達、若き世代であります。若き世代(New Generations)は我々の明日であり、日本の将来、地域社会の未来を担う可き、貴重な存在であります。そして私達の子弟並に孫がその中に入っているのです。ロータリーは、その若者達が立派な見識のあるリーダー、慈悲の心と、思いやりと慈しみの心を備えた人間味あふれる人物になるように、世の中の為になる若者になるようにと云う心より、様々な素晴らしい、実に工夫されたプロジェクトを実践しております。

9月は新世代月間です。今月は青少年にターゲットを置いて考えて下さい！先月は会員増強月間です。会員増強について真剣に考える月でした。各クラブに於て会員増強についての方策をクラブ全体で真剣に考えていただいたでしょうか？若し未だしていないのであれば、今月取組んで下さい。

### 〔新世代プロジェクト〕

#### (1) インターアクト・クラブ (Interact Club)

14才～18才までの年齢の若者。中高に在学中の学生を対称にしている

#### (2) ローターアクト・クラブ (Rotaract Club)

18才～30才までの青年を対象とする

#### (3) ロータリー青少年指導者養成プログラム (Rotary Youth Leadership Awards – R Y L A)

14才～30才までの青少年を対象とする

以上の3つのプロジェクトを実施しています。

14才より18才を構成メンバーとするインターアクト・クラブは以下の事項を目標としている。14才から18才と云うと、中学校より高校に至る5年間です。この間は、人生に於て最も重要な且つ基本的な考え方、価値観を身につけなければならぬ時期です。ロータリーが彼等に対して望む事、期待する事が目標として設定されました。師弟教育、後継者育成教育の出発はこの期間に実施されるのが最上であります。戦前日本に於てはナンバースクールと呼ばれた第1高等学校を始めとする高等学校制度が在りました。この制度は実に素晴らしい制度であって、全員寄宿舎に住み、青春を謳歌しながら、勉強にスポーツにと情熱をかけ真剣に人生について論議したのです。今はこの制度は日本から消滅してしまいました。さて、企業のトップを務めるロータリアンの皆様にとって、この青年対策のテ

一マは非常に大きいものであると考えるのですが、如何でしょうか!?

将来の指導者となる可き若者はこの5年間にしっかりとした考え方、価値観を身につけて欲しいのです。ロータリアンの諸氏にとって、しっかりとした若者育成の指導方針を知る事は企業運営、師弟教育の上で実に大切な必要必須の事であらうと思います。

## 青少年育成の指導方針

### ◎インターアクト・クラブ

以下の目標は、実に内容のある、レベルの高いものです。エリートを育成せんとするロータリーの情熱を深く感じるのであります。

---

#### 目標

##### (Goals) 14才~18才

先ず目標・ゴールを決定する事が何よりも大事な事であります。目標を明確にし、それを深く認識する事によって、その現実化のための行動実践が開始されるのです。目標なく無目的に行動するならば、何ら価値ある成果を確得出来ないでしょう。

---

#### ①「建設的リーダーシップの養成」と「個人としての誠実で高潔であること」を良く認識して育成すること!

この①を読んで正直驚く人が多いのではないのでしょうか。まさかインターアクトがこの様な事を目標にしているとは思わなかったと推察します。

青少年育成の第1の方針がこれであります。実に高い志ではありませんか!この第1は人の上に立つ人間にとって、何よりも大切な要点です。リーダーシップはあるが人間として誠実でない、薄汚れておる、どうも胡散臭いと云う人物を、私達の周囲に良く見かけます。誠実で高潔でないと信用されません。人の上に立つ事は出来ません。これは何も若者だけではありません。成人し大人になっても肝要な事です。こう云う所に着眼しておるのは、さすがにロータリーの着眼点は高いと敬服するのであります。ロータリーの観点が如実に示されている方針です。これは最も大切な観点であります。

---

#### ②「他人に対する思いやり」と「他人の力にならん」とする心構えを奨励し実践する事!

人間として、トップとしての大切な心。それは「優しさ」と「慈しみ」の心を持つことです。この心から、人々に対する「思いやりの心」と「困っている人、苦しんでいる人々の力になろうとする心」が生まれてくるのです。このような人は愛情に充ちた人物であり、暖かいハートの持主です。こう云う人物に人は喜んでついて行くのです。この心をより育成する為に、奉仕プロジェクトを実践しています。すばらしい活動をインターアクトのメンバーは実行しています。

---

③家庭(Home)と家族(Family)の重要性をよく認識し自覚させること！

---

この方針は最近の世の中に於て実に有意義であります。私達の幸福は良き家庭と良き家族に囲まれて生活する事の中にあります。家庭が破壊されているならば、いくら経済力があり地位があろうと、実にむなしい淋しいものです。

---

④それぞれの個人の持つ価値(worth)を認めると云う考えに立脚して、他人の権利(right)を尊重するようにする事

---

これが自由平等主義の根本的考え方です。個人個人の価値観を大切にして否定しない。ちゃんと認めることが平等主義であり、他人の権利(生存権、自由発言権 etc)を尊重するのが個人主義であります。この考え方の根本に他人に対する深い愛情があります。別の言い方をするならば、トップに立ったからと云って人々を自分の持ち物のごとく扱わぬことであり、独裁政治をとらぬ事であるのです。この考え方をしっかりと持つように指導しなければなりません。これが出来ていないと、いじめやハラスメントが生まれてくるのです。

---

⑤インタラクットのメンバーの1人1人が以下の事を自己の責任として受け止めるように強く強調して指導すること

---

イ)「個人として成功すること！」

ロ)「地域社会を改善すること！」

ハ)「団体グループとして業績を上げること！」

先ずメンバーの1人1人が個人的に成功し、幸福にならなければならず。そして次に地域社会がより良くなるように奉仕活動をし、団体として業績を上げることが大事であるのです。この考え方が順序です。Personal success が先ず先です。次に奉仕活動です。イ)ロ)ハ)は個人として、社会として実に大切な目標であり責任であります。

---

⑥すべての有益な職業は世の中に喜びを与える(奉仕)チャンスであると認識し、職業の品位と価値を認識し自覚すること！

---

世の中の為になる職業、人々の幸福を与える職業、人々に喜びを与える職業は人々にとって有益で有用な職業であります。その認識をしっかりと持って、職業の品位と価値を向上させるように精進努力させなければなりません。これがロータリーの職業観であります。何の為に働くのか？何の為に経営を営むのか？に対するロータリーの答えであります。自分の携わる職業をとおして世の中に幸福と喜びを与え、社会の幸福の為に奉仕し努力するとうのがロータリーの職業観であります。これがロータリーの本来の奉仕の姿であります。

世間の人々に喜んでもらおう！世の中の人々の幸福につながる物を開発し提供しよう！

「どう云う商品を開発すれば世間の人々が喜び幸福と考えるのだろうか！？」と云う思考がビジネスの根本的発想であらねばなりません。そしてそれを目標としてビジネスの品位を上げ品質を上げ、品質をより向上させ creative な創造的な他にない商品を開発して行く

必要があるのです。人のマネをし人と同じ商品を提供するならば、当然価格競争の嵐の中に巻き込まれコスト削減競争を常にしなければならなくなります。しかし **creative** で独創的な商品ならばこの競争戦術の中に参加する必要はありません。商品の差別化をはからなければなりません。今の世の中で成功するためにはこの考え方が最も必要なのです。**Creative** な開発力の有る無しによって成功か失敗かが決定されるのです。人々が何を求めているのか、人々が何を幸福とするのかを、よくよく考える必要があります。

---

⑦地域社会、自国(自分の国)、及び世界の様々な出来事に関する、より多くの知識とより深い理解を確得させる機会を提供すること

---

世の中の出来事、世間が世界がどのような状況に在り、どのような方向に進んでおるのかを、良く知り理解しておく必要があります。世の流れを知らず、ただ目前の仕事のみに集中しておると、その仕事自身の運命が分かりません。時の流れ、世界の流れについて、常に興味を抱いておかねばなりません。世界は急激なスピードで動いておるのですから。急激な変化の中に推移しておるのですから。

---

⑧国際理解と全人類に対する善なる心(善意)**goodwill**を増進するために、個人として団体として進む可き道を開くこと！

---

以上の8項がインターアクト・クラブのゴールであり、目標です。これを目標として活動しているのです。この目標を設定したのはロータリーです。故にロータリーの各クラブに於るメンバー育成、青年育成、新入会員育成の方針でもありロータリアンの各会社組織に於る社員教育、エリート教育の方針でもある可きなのです。

### ◎次にローターアクト・クラブ(RotaractClub)です

18才から30才までの青年によって構成されています。基本的にはインターアクトの目標と同じですが、その目標に2項追加されています。

---

イ) 第1に『専門技術(**professional skill**)並みに指導(リーダーシップ)の技術』の修得を育成すること

---

---

ロ)第2に『指導者としての資質の面、職業上の責務を遂行する面に於て、道徳的基準を持つ事が大切である事を認識し、実践し推奨させるように指導すること！

---

以上インターアクト、ローターアクトの新世代育成プロジェクトに於る目標を考察してみました。実に素晴らしい高いレベルと志を持つゴール(goal)であり、目標であります。しかるに現実のインターアクト、ローターアクトがこの目標を実践に移しておるかと言うと、実にお寒い状況であり否！と言わざるを得ません。目標と行動、実践があまりにも隔離しています。インターアクト、ローターアクトに携わる委員会と役員、学校関係者は、この



事をもっと自覚していただきたい。たしかに奉仕活動は素晴らしいものがあります。他人の為に喜んでもらおうとする活動、他人に喜びを与えんとする活動は彼らの魂を愛情あふれる素晴らしいものにするでしょう。しかし、ロータリーはそれだけを目標にしているのではないのです。

### ◎ロータリー青少年指導者養成プログラム —Rotary Youth Leadership Awards— R Y L A—

このプログラムは通称ライラ活動プログラムと呼ばれています。14才～30才までの若者を対象にして準備されたプログラムです。このプログラムは実に素晴らしいもので感動にあふれるプログラムです。ライラ委員長をはじめとする委員会の諸氏、そしてロータリアンの諸兄の非常なる努力によって毎年開始されております。ロータリアンの諸兄の参加を心より切に望むものであります。一度参加してみてください。今の若者達が何を考え、何を思い求めているかが理解できます。

以上、新世代について考えてみました。皆様にご参考にしていただけたならば、幸いと  
する者であります。

昨今、しみじみ思うことの1つに、今、我々は未曾有の危機の時代、不安と恐怖の常につきまとう大変化の時代、動乱の時代に生きておるのです。こう云う時代であれば、ある程我々は正しい知識と見識を持ち魂をみがき、正しい哲学(宗教)を持って学問し教養を身につけなければならない。東洋の教学、思想、宗教、哲学は鎮魂を旨としております。「魂を鎮める」のです。

「魂を静める」のでも「魂を沈める」のでもありません。「魂の中にある真実を見極める力を、より金色に光輝く真実のものにしようとする」のが東洋思想の一大眼目であります。しっかりと鎮魂し、ロータリーの説くすばらしい教学を皆さんと共に学んで行きたいと考えております。

本格的にガバナー訪問がいよいよ始まります。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

## 「ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）」



パストガバナー 成川 守彦

### <はじめに>

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は、1992年にアメリカ北東地域に最初に設立された。アメリカ北東地域とは、現在のゾーン31とゾーン32の地域（現在のアメリカの北東部とバミューダ）に含まれる30地区である。RLIは国際ロータリー（RI）推薦の非公認の組織であり、RLIのプログラムはRI公式プログラムではなく、RIは管理も行っていない。

日本では、2007年11月のロータリー研究会の直前、マイク・マックガバンRI副会長が来日し、RLI日本Division準備委員会が設立された。

### <RLI日本Division準備委員会>

南園義一委員長（D 2710）、川尻政輝幹事（D 2750）、黒田正宏委員（D 2830）、成川守彦委員（D 2640）、関場慶博委員（D 2830）、川妻二郎委員（D 2710）、坂本俊雄委員（D 2750）

日本Divisionの委員の任務は英文を日本語に翻訳し、同時に日本国内の各地区にRLIを拡げる事である。プログラムの一部に日本ロータリーの伝統や特徴を加える事ができる。

### <RLIとは>

地域レベルで活躍のできるロータリアンリーダーの教育と育成を目指しており、RLIはオンラインでの資料の提供を行っている。この資料に基づき世界全地区でほぼ同じカリキュラムで開催される。

RLIは3日間の集中プログラム（Part I, Part II, Part III）を行っており、それに続き卒業生セミナー（Graduate）を行っている。研修担当者はロータリアンの中から選ばれ、特にリーダーシップに優れた人物などが選ばれ、画期的な参加型のセッションなどを行う。

国際 RLI では、2年ごとにテキストを改訂する。国際 RLI では、RI やロータリー財団からの情報や教育と RLI による教育が相補うものと考えている。そして、RLI による教育は草の根からのものとしている。

RLI は現在プログラムの実施地域の拡大を行っており、新規採用された地域は随時ウェブサイトに一覧として発表される。RLI は現在世界の 100 地区で推進中である。日本では、後述のように去る 5 月に第 2750 地区で初めて開催され、今年度 3 地区で計画中である。

国際 RLI の納付金は一年に 100 ドルで、地区が会員となり地区から送金する。

## <Q & A>

### どのようなコースがあるのですか？

RLI は第 1 部・第 2 部・第 3 部と題し、3 日間のリーダーシップコースを行います。順に各段階を受講してくことにより次のレベルのコースを受講する資格が与えられる仕組みになっています。これらのコースはロータリーに関する知識の向上やリーダーとしての役割を果たしていけるスキルを身につけられるように設定されています。

例として、“どのようにして自分自身のリーダーシップを身につけるのか”、“ロータリーの目的と概要について”、“ロータリー財団について”、“会員増強・退会防止”、“リーダーシップと効果的な委員会”、“奉仕活動”、“職業奉仕”、“国際奉仕”、“新会員勧誘”、“広報”などとなっています。

### どのようにして教えるのですか？

なるべく多くの議論や意見交換を行いたいと考えているので、各コースは 10 人から 15 人の定員を設けています。受講中は各グループに分かれセッションに参加し、意見交換、シミュレーション、問題解決に関する意見交換、プロジェクトの計画・プレゼンテーションを行う予定になっています。すべての参加者がこのセッションに参加することになり、参考書には RLI マニュアル、セッションの議題などが含まれており、受講に必要な物品はすべての参加者に提供されます。

### 誰が教えるのですか？

RLI は講師を慎重に選出しています。指導能力などを考慮し世界中の地域から選ばれます。国際ロータリーの理事を勤めた方、また現理事の方などが多く、元ガバナーや現ガバナー、過去の RI 会長などさまざまな地域で経験を積まれた方がたくさんいます。新しく講師となった人は丸一日をかけ新講師のため訓練計画と題された様々な方向づけのプログラムに出席することが義務付けられています。受講者からの各コースの評価・結果は、今後の RLI のコース内容や講師の指導方法を改善する助けとなります。

### どうして受講しなければならないのですか？

ロータリークラブは毎年役員交代を行っており、そのため**会員全員のリーダーシップが必要**となってきます。164カ国、120万人の指導を行うとなると、クラブレベルではかなりの努力と準備が必要となります。さらにまた、ボランティア組織のリーダーシップ技術は、ビジネスリーダーシップ技術と異なります。我々ロータリークラブの成功または失敗が主に彼らのリーダーの質に依存すると考えており、クラブリーダーには教育のあらゆる機会を与えることが重要であると考えています。

### 誰が受講しなければならないのですか？

将来的な会長への候補を見据えてではなく、各クラブレベルでリーダーシップを発揮できるような会員の受講を勧めています。候補者は、少なくとも3～4年間はロータリーの会長やその他の重要な役員に就く予定のない者で、ロータリーに強い関心があることはもちろん、ロータリーのより大きな世界に立ち入る準備ができていなければなりません。RLIは、各々のクラブに毎年1人または2人のロータリークラブ会員を受講候補者に指名するよう要請しており、次回受講予定者は前受講者が第2部と第3部の受講を完了する際に支援を行うよう依頼しています。

### 私たちのクラブは研究会に参加しなければならないのですか？

あなたが自身の在籍するロータリークラブの将来を考慮するのであれば、受講するべきでしょう。このコースは各々のクラブが**重要な任務についてのリーダーシップを取れるように、知識を向上させることのできる重要な機会**です。経験豊富なロータリアンとの意見交換はこれからリーダーシップをとっていく会員には大きな意味を持つでしょう。

### **<日本におけるRLIの準備状況>**

#### ①RI 第2750地区

日本で初めてロータリー・リーダーシップ研究会を開催した。

1. 日時 平成20年6月2日(月) 登録9:00 開講9:30～18:00
2. 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
3. 参加者 クラブで推薦する会員120名(クラブ1～3名)
4. 対象者 近い将来、クラブ指導者になってクラブの奉仕と管理の改善のための知識

と技能を得る意欲的な会員

#### 研究会の概要

##### I. 全体会議(開講式)

## II. 分科会

1セッション 1分科会「リーダーシップとその特徴」(その1)

2セッション 2分科会「クラブを超えたロータリー」  
～クラブと国際ロータリー(地区)との戦略的互惠関係～

3セッション 3分科会「会員組織と退会防止」(その1)

4セッション 4分科会「サービスプロジェクト」  
～奉仕活動の計画と実行上の問題～

5セッション 5分科会「ロータリー財団について考える」

6セッション 6分科会「リーダーシップとチーム形成」  
～クラブを活性化させる効果的な委員会構成～

### III. 1 各分科会の報告(各5分間)

2 セミナーとリーダー、サブリーダー、アドバイザーの評価

## 閉会式

10月25日に東京でPart IIを開催する予定

### ②RI 第2830地区

2008年11月2日実施予定

### ③RI 第2710地区

2009年1月31日—2月1日に実施予定

### ④RI 第2640地区

2008-09年度に実施予定

## <終わりに>

当2640地区でも、勝野DGの要望により、RLI開催を準備中である。近い内に各クラブに案内を送付するので、意欲のあるロータリアンのご参加を期待する。



## 新世代月間によせて

新世代部門カウンセラー・パストガバナー  
平尾 寧章



青少年奉仕委員会は、社会奉仕委員会の一部とし、発足し、一時期四大奉仕に準ずる第五の奉仕部門と言われた。

現在は新世代部門となり、30才までの若い人の多様なニーズ（健康、人間の価値、教育、自己開発）を支援するとなっています。

特に日本の少子高齢化社会において、未来の夢を実現するには、次世代のリーダーを育てなければなりません。

2640地区では、青少年ライラとして若者とロータリアンが2泊3日で合宿研修を行います。

私は3回参加しましたが、ライラ委員長より参加若者の感想文を頂きます。多少の不安を持って参加した初対面の少年少女達が、研修と共に友達となり、ライラに参加して楽しかった、良かったと喜んでいます。ライラのお世話して下さるロータリアンの心と行動、企画のたまものと感謝致します。

6月28日（日）

ローターアクトの地区大会（有田）では

地区のアクター・地区委員、提唱クラブのロータリアンと共に明るくて、新鮮な感じで楽しみ盛会でした。

特に講師の落語家の指導を受けるため、ステージに上った男女2人のアクターのパフォーマンスには未来へのリーダーを感じます。

7月20日のローターアクトリーダーシップフォーラム（富田林）の

会長幹事部門では「良いコミュニケーションのために」の題目の研修では前席のリーダーとフロアのやりとりの巧みさは素晴らしくロータリーの例会に応用したら楽しい盛り上がるの会になり出席率も良くなるでしょう。

その後、参加者が4グループに分かれ「増強のためのイベント」を考え、発表では若者特有の奇抜な発想もあり、笑い感動を味わいました。

7月21日 インターアクトクラブ年次大会（堺）

開会式のあと 昨年度の各インターアクトクラブの活動報告のあと

今年度の地区ターゲットとして「笑顔であいさつ みんなに元気を！！」の発表がありました。

50年前の自分を思い出しながら聞きました。午後は「ハーベストの丘」での焼肉バーベキューは、酷暑の中煙にむされながら、水ハンカチを頭にかぶって奮闘した。

ローターアクトとインターアクトは提唱クラブ以外の会員には付き合う機会が少ないですが、ロータリーの活動としてすすめて行く一つの方法であり理解を深めて下さい。

ライラは来年の5月の連休を目指し、ライラ委員会が準備を進めています。御協力をお願いします。

なお、国際奉仕部門の新世代 青少年交換に関しても御協力下さい。



## インタラクティブ年次大会について



国際ロータリー第 2640 地区 2008～2009 年度  
インタラクティブ委員長 中村 哲三

インタラクティブクラブ〔interact club IAC〕は国際理解と地域社会に奉仕するプロジェクトとして世界中の青少年（学校教育を受けている年齢 14 歳～18 歳）が共に活動できる組織として 1962 年に世界各地に創設されました。

目的は奉仕と国際理解の推進を目指して世界的友情のうちに活動する機会を青少年に与えることにあります。

現在、当 2640 地区にはロータリークラブ提唱のインタラクティブクラブは 11 クラブが結成されており、インタラクティブの会員はロータリークラブ指導のもとに地域社会でさまざまな活動に携わっています。

地区でのインタラクティブ活動計画は年次大会リーダーシップフォーラム、国際交流親睦会海外研修オリエンテーション、海外研修オリエンテーション、海外研修、海外研修報告会、新入生歓迎会等多数のスケジュールが計画されております。

まず今年度 2008～2009 年度国際ロータリー第 2640 地区〔インタラクティブ年次大会〕が 7 月 21 日に初芝堺中学校に於いて開催されました。午前中のプログラムは各参加校インタラクティブ代表者による活動報告の発表が行われました。午後はハーベストの丘にバス移動し昼食後、各自グループ別に分かれ、風鈴絵付け、皿絵付け等貴重な体験学習をされ、生徒の皆さん学校間、年齢間を越えてお互いの親睦を深められたと思います。

暑さ厳しい折ではございましたが本大会が実りと思い出の多い有意義な 1 日であったと思います。まもなく閉会式が野外ステージで行われ、平尾寧章パストガバナーのご挨拶をいただき無事 1 日が終了いたしました。

今後のインタラクティブ活動に更なる発展をすることにすべてのロータリアンの方々のご支援とご協力を宜敷くお願いいたします。

## ローターアクトリーダーシップフォーラムについて



ローターアクト委員長 中西 秀文

2008年7月2日に、2008～2009年度最初の地区行事である「リーダーシップフォーラム」を、第2ゾーン（松原 RAC・富田林 RAC・河内長野 RAC）ホストにより、レインボーホール（富田林市民会館）で開催されました。

冒頭、新世代活動に大変力を注いでくれています。勝野ガバナーがローターアクトに5つの条件 ①思いやり ②痛みがわかる人間 ③勇気 ④向上心 ⑤ねばり について大変有意義な話をして下さいました。

午前の部では、各クラブの発表（クラブターゲット、行事予定、メンバー紹介等）がありました。今年度は卒業生（ローターアクトは30歳で卒業）が多かったので、2640地区のローターアクトの人数は約80名前後になり、かなり減少しましたが、各クラブとも最低月1回は必ず行事計画が入っていますので、一年間忙しいと思いますし、熱意が伝わってきました。又、人数の少ないクラブは他クラブと協同で活動する予定です。

地区行事の一つである海外研修（行先：韓国）は11月1日（土）～11月3日（月）に予定していますが、できるだけローターアクト、ロータリアンも多数参加してほしいと思っています。

午後の部では、部門別（会長・幹事・一般）研修があり、楽しいながらも真剣に討論を行いました。会長、幹事部門では「より良いコミュニケーションのために」というテーマで、コミュニケーション上手になる方法をわかりやすく実演を含めて説明してくれまして、我々ロータリアンにも大変勉強になりました。

最後には「会員増強」について4グループに分かれてプレゼンテーションがあり、笑いのある中で我々ロータリアンとは全く違う発想で大変参考になりました。

一年間私もローターアクトとともに楽しみながら活動していきたいと思っています。

## 新世代月間に寄せて

青少年ライラ委員会委員長

瀧 成和



青少年に対する奉仕は、ロータリーでは古くから重要なこととされてきました。1954～5年度ではRI会長のH.J.Taylor（シカゴRC）が年間目標の1つに青少年に対する奉仕を入れられたほどです。当2640地区内でもクラブによりますが、インターアクトクラブやロータリーアクトクラブを提唱されて1年中、直接的に青少年奉仕に取り組まれている所もあります。また教育委員会などと連携をとられてプログラムを実行されているところ、学校（中学校、小学校、高校、他）と一緒に、その学校の学生を対象にプログラムを遂行されたり、別にボーイスカウトやガールスカウトに協力して独自のプログラムを進めておられるクラブもあるようです。各クラブにおかれては、どのように取り組まれて、いかなるプログラムを立てておられるかという事については、さぞかしご苦勞をされておられると存じます。といたしますのはロータリアンの方は、メンバーはあまり変わりませんが、対象の青少年につきましては年々入れ替わりますし人数も変わります。また先生方も代わられたり、行政では担当が代わればすっかりやり方が変わったり致します。今の大阪府では、知事が代わっただけで大きな変化が出てきているようで、私たちのライラをするときもそのことが影響して参りそうな感があります。このように様々な難題が出てきそうな状態ですが、各クラブにおかれましても毎年どのように取り組むかについてご苦勞をされていることと存じます。地区担当委員会としましては、夢を実際に感じることを進められるような企画を元に、青少年（新世代）育成のためのプログラムに取り組んで頂きたく存じます。

アクトクラブに関しまして、クラブを創立して十数年以上経っているロータリークラブでアクトクラブを持たないクラブは子供を育てて行くということを避けておられるということなのだという話を他の地区の方からお聞きすることが時々あります。ことにロータリーアクトクラブは、当地区では減ってきております。インターアクトについては若干クラブ数は増えています。ただロータリークラブが地域奉仕などを進める時にこれらアクトクラブとともに行うということが素晴らしいことであると思われまますので、アクトクラブをお持ちでないクラブは是非前向きにご検討して下さいを願っております。



青少年奉仕、育成のためのプログラムを進める1つの方法にライラがあります。2640地区では、現在の所、2泊3日での研修プログラムで、討論・発表・アウトドア体験・キャンプファイヤー、カッターボートを使った海上でのレース、地域の歴史体験など、内容が一杯のプログラムを組んで行っております。テーマは昨年と同じく「豊かな人生を築くには」をメインテーマとして、今年度は、自分たちが住んでいる地球がこのままでは破壊されることはなくても、人類が生きて行き難い状態に陥ってくることから抜け出すという、エコ生活、エコ社会をいかにして築いて行く事が出来るかを検討し、互いに討論を進めて頂くつもりです。若い人達が十分に住んでいける地球の状態を守ることが出来なくては、初めから豊かな人生を築けないということになってしまうのではないかとこの疑問からこれを討議の中心としたいと考えています。ロータリアンにも参加されることをお勧めしたく存じます。また今年のライラキーマンを出して頂く地域はIM3組の和歌山市一帯のクラブとなります。和歌山藩徳川家の多くの遺構が残っている地域でもあります。若い研修生達に地域の歴史に親しんで頂き、どのように歴史が歩んだかを身近に感じて頂く様なプログラムを作成すべく委員会で検討を進めて参ります。各クラブに於かれまして独自のプログラム等が進めにくい場合は、この地区ライラを大いに活用して頂き、研修生を多く派遣して下さいませお願い致します。また、ロータリアンのご参加（出来れば2泊されて）も歓迎申し上げます。必ずや素晴らしい体験を感じて帰って頂けると思います。

最後に、今年度のライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、2009年5月2日から4日の予定で、淡輪の大阪府立海洋センターを中心に開催致します。なお3日は移動日で和歌山市内の歴史に親しむことになる予定です。10月（25日の予定）にはIM3組のクラブからキーマンの方々に集まって頂き移動日の研修について検討を進めて参りたく存じます。

## クラブ雑誌・広報、IT委員長会議

日 時 2008年7月19日(土) 13:00~17:00  
場 所 うお健ビル

クラブ雑誌・広報、IT委員長会議は、ガバナー他役員・幹事等38名、クラブ委員長81名計約120名が参集し、熱気に溢れる論議がかわされた。内容下記の通り。

### 記

#### 「1」プログラム

13:30	開会点鐘・紹介等	ガバナー	勝野 露観
	開会挨拶	代表幹事	桃田 隆彦
13:45	講話「雑誌・広報・ITを担う 委員長への期待」	ガバナー カウンセラー& パストガバナー	勝野 露観 平原 祥彰
14:00	雑誌・広報委員会報告	雑誌広報委員長	川村 克人
	1) 委員としての基礎知識		
	2) 広報の方法		
	3) 現在にみる広報の問題点		
	4) 今年やりたいこと		
15:00	「ロータリーの友」の活用について	「友」地区委員	山口 正眞
	1) 「友」の購読		
	2) HPの活用		
15:15	IT委員会報告		
	1) 委員会体制と今年度計画総論	IT委員長	大村 充
	2) 新ホームページの開設案内	〃	〃
	3) 地区内データ管理と クラブホームHP政策要点	IT委員会アド バイザー	寺下 卓
	4) クラブ事務局IT研修会ネット化計画	地区委員	大森 豊
16:00	質疑応答		
16:20	会議所感	ガバナーエレクト	村上 有司
	〃	ガバナー補佐	選出 4名
16:45	講評及び点鐘	ガバナー	勝野 露観

#### 「2」会議内容

##### 1. 挨拶及び講話

イ) 勝野ガバナーより、近年に於ける広報の重要性が強調された。この為本年はウェブを含む情報伝達をダイナミックに見直し、インフォメーションが内外に、迅速且つ十分伝えられるようあらゆる組織が努力することを、要請された。

ロ) 平原カウンセラーは、ロータリーが外部への広報を怠ってきた今迄の経緯を回顧し、活動した実績を謙虚に陰徳としてそのままどこにも知らせないで来たのは、先人の教えもあったが、ロータリアン自らの消極性を自己弁護してきた一面もあったと、反省された。

広報と広告とは本質的に異なり、我々は商品を売らんが為の広告をするのではないと説明し、広報への基本的理念を忘れないことも述べられた。

そして今後のロータリーにあっては、みんなで汗水流して実践した奉仕活動は、広報担当部門が中軸になって、出来るだけの手段を考え、熱意を込めて内外にお知らせすることが責務であると指摘された。

また自らは、本年クラブ奉仕担当アドバイザーとして、その先頭に立って思い切り新しい時代の広報を再構築していく心算であると、力強く宣言された。

## 2. 委員会報告

### イ) 雑誌広報委員会

川村委員長より、第1章「委員としての基礎知識」として、手続要覧に記載された広報関連事項を説明し、第2章「広報の方法」と題し、ロータリーで可能な広報手段を論述した。

この後第3章、第4章で本年度の活動を報告し、その支援・賛同をお願いした。

### 第3章 現在の広報にみる問題点

#### 1) 内部広報にみる問題点

イ) 共通の活字媒体が減少し、ウェブ利用者としめない者の情報格差が拡大

ロ) この結果、理念・考え方・価値観がかつてより拡散してしまった。

現状は、ロータリー全体の動きが体系的に捉えにくい時代を迎えている。

#### 2) 外部広報にみる問題点

イ) ロータリーの認知度は低いままである。

ロ) その上ボランティアは花盛りで、ロータリーの奉仕は益々目立たない。

このため、世間の認知度から遠ざかり、会員もアクトも減少を続けている。

### 第4章 今年やりたいこと

#### 1) 内部広報

イ) ホームページ 重要情報（Gメッセージ等）を迅速に選択出来るようIT

委員会に「レイアウトの改訂」をお願いした。

- ロ) 1 ページ紙面 重要情報を 1 ページに要約、全員に配れるサービスを行う。  
=ガバナーメッセージ、「友」、委員長報告、
- ハ) クラブ投稿支援 「友」「地区HP」に一回以上投稿して頂くよう、クラブへの支援を進める。

## 2) 外部広報

イ) R I 広報補助金を活用して、外部広報を展開する。

1 万ドル (1 0 0 万円) 以内。地区側も資金拠出。1 2 月審査決定。

ロ) 活動計画

- (1) 記事掲載 産経新聞に毎週 1 回 3 ヶ月、1 2 回掲載。
- (2) 放 送 ラジオ放送 (O B C) でインタビュー放送等
- (3) H P 掲載 H P 「産経関西」に記事掲載
- (4) 冊子作成 産経掲載記事を冊子に作成し全員配布。会員募集にも広く活用

ハ) 時期

- (1) 試行期間 2 0 0 8 年 1 0 月 ~ 1 1 月
- (2) 本期間 " 1 2 月 ~ 翌 2 月頃まで

ニ) 費用

総計	2, 3 0 0, 0 0 0 円	
分担	(地区で集めて一括払い)	
(1) R I 分担金		1, 0 0 0, 0 0 0 円
(2) クラブ分担 (1 クラブ 12,000 円)		9 0 0, 0 0 0
(3) 個 人 (冊子一冊 7 0 円)		2 5 0, 0 0 0
(4) 地区補填		1 5 0, 0 0 0

## ロ) ロータリーの友委員報告

山口ロータリーの友委員より報告予定であったが、急用が生じたので川村雑誌広報委員長が代行説明した。

### 1. 「友」編集方針

「友」は漫然と見ると読みにくいが、編集意図を知っているとそれに沿って読めるのでとっつき易い部分が出来ると伝え、その編集方針を説明した。

方 針 「豊かな友」を目指す基本方針は変わらない。

表 紙 プロカメラマンの自然・環境との共生をテーマとした写真とする。

記 事 「手に手」クラブ探訪=好評なので、今年も継続。

「座談会」＝会員ナマの声。3回ほど新設予定。

「指定記事」＝率直に言って、R I 指定記事は翻訳なので読みづらい。

だがこれは、公式地域雑誌として必ず記載することを義務づけられている。読めばなかなか味のあるものもある。

## 2. ウェブ「ロータリージャパン」

公式日本のロータリーウェブサイトとなり、情報も広がったことを説明した。

国際大会・協議会の当日情報も掲載。ロータリアン以外への広報へも使える。

「インターネット速報」＝毎週火曜日更新で送られてくるので利用されたい。

## 3. ロータリアン実勢調査

会員減少、世代間ギャップ、新会員への情報不足等の分析・解明のため、全国ロータリークラブ対象のアンケートが本年実施されることになり協力を依頼。

## 4. 購読義務と地域雑誌

手続要覧に、会員は有料にて購読義務のある事を確認し、併せて「友」は公式地域雑誌として世界30余の雑誌の中でも定評のあることを強調した。

## ハ) IT委員会報告

最初大村委員長より委員会体制について説明し、この後大村委員長、寺下アドバイザー、大森委員、三名により分担して下記の通り説明を行った。

### 1) 委員会体制について

クラブ支援をより強くスムーズに進めるために「4つの取り組み」を軸に各担当が考え、推進する。

ホームページの企画	大村 汐崎
地区内データ管理、技術	寺下
IT研修	大森
雑誌広報との連携	中谷

進捗やアイデアは各担当が責任を持って進め、定期的な委員会内会議で進捗を報告、検討するというように組織づくりにも力を入れる。

### 2) 「決議 23-34」を考えるコラムのホームページへの新設

われわれロータリアンにとって非常におおきな意味を持つ根源的な問題「決議 23-34」の復活に取り組んでおられる中島パストガバナーはじめ様々な方に協力いただいて、



みなさんに「決議 23-34」について知ってもらい、この大事なものがうしなわれていいのか？否か？ということを考え、討議するためのコラムを地区ホームページに新設、運動を展開したいまた、ネットの特性を活かして、他地区への波及効果にも期待したい。

### 3) ホームページリニューアルのご案内

- 1) RI 会長、地区ガバナーメッセージの伝達強化、月信も大きなボタンで目立つように設置
- 2) 地区、クラブ、情報などを整理、ドアを開けて部屋に入る仕組み
- 3) 増強へのアプローチ
- 4) 使える情報を掲載
- 5) 情報アップロードへの取り組み

今後もホームページの完成へ向けてがんばります。ご意見などありましたら各担当に具申ください。また記事があつてはじめてホームページのニュース機能を発揮できますのでよろしく願いいたします。

### 4) 地区内データ管理、クラブホームページの単年度管理、制作の御願い

地区内データ管理につきましては、ガバナー事務所に大容量のデータを保存出来るサーバーを設置いたしました。さらにバックアップ装置、オートスキャナーなど地区の大切な記録を電子データとして、保管するための設備を整えました。このため、過去データも含め、当地区の重要な事業記録、資料及び各クラブのロータリー情報を蓄積し、今後の情報資産として活用できるよう作業を開始しますのでご協力をお願いします。具体的には印刷物は PDF 等のファイル化を同時にお願いし、データをガバナー事務所に送ってください。

次に HP 制作要点につきましては、各クラブのページも年度単位で更新し、バックナンバーを保存してください。また、地区ページの各クラブの紹介ページ、名簿データの提供等も従来どおりお願いします。各クラブが情報共有することで、効率化・合理化を図りたいと思います。

### 5) IT 研修会のネット化のご案内

今年度は、各地域開催での教室形式の研修会は開催致しません。その代わりに地区HP内に「掲示板」を立てまして各クラブとの対応を行いたいと考えています。

各クラブ固有の問題に対応する事を目標に掲げております。従いまして、各クラブからのご意見やご質問を頂きたいと思っております。

### 「3」 質疑応答

委員会説明後、質疑応答が相次ぎ、活発にして熱気に溢れた話合いが制限時間一杯まで続けられた。詳細は省くが、つぎのような質疑がなされ、カウンセラーをはじめ委員長・委員共々の有意義な話合いとなった。

#### 質問応答抜粋

1. 地区やR IのHP内容は、クラブ資料にそのまま転載・利用してよいか？
  - (A) 地区役員のメッセージは活用を奨励されるだろうが、要約するとオリジナルの意味を損なうので、承諾が必要。  
写真や地区外情報は、承認なしでは著作権問題が出る。弁護士さんもおられるので、後刻報告
  
2. 「友」に投稿して、採択されるコツは何か？
  - (A) 特効薬はないが、全員整列した記念写真風は絶対ボツになるので、汗を流して奉仕している姿を提出すること。  
近頃採択率は上がっているが、ともかく鉄砲は数多く撃つことが一番。
  
3. 広報というのは難しい。昔はあまり活発ではなく、陰徳が美德と言われたが？
  - (A) 確かに美德とされた。しかし今は時代が変化した。一生懸命汗水流して奉仕活動しているのに、それを見逃して広報努力しないことこそ恥ずべきことではなかろうか。言い訳にもとられかねない。  
世間も、やったことは的確にお知らせして欲しいというか、一般的に情報公開する時代になって来ている。ロータリー内部も同じである。
  
4. 新聞に載せると広告料は高いと聞いた。これでやれるのか？
  - (A) 広告で今回の計画を考えると、数百万円以上は必要であり、その意志は全くない。  
新聞社がロータリーを記事の標的にするだけのことである。ロータリーの奉仕活動の記事を、読者が関心をもって読んでくれる内容に新聞社が選択し記述するだけである。何を選択し、どう書くかは新聞社次第。  
新聞購読で協力するがこれは単なる購入である。  
ただ取材・ラジオ 放送・HP掲載等の経費100万円は提供する。

## 「4」 会合所感

イ) 村上ガバナーエレクトは、広報の重要性が大きく変化しつつあることを指摘した。

その一例として、R Iが今回提案したCLPの五つの常任委員会の一つが「広報」の機能であるとした。欧米と日本の考え方の差異はさて置き、欧米では広報を我々よりも一段と重視しているのかも知れない。我々は独自の考え方を取ってよいが、広報はロータリーの将来にとって、極めて重要であると強調された。

そのため、従来はやや閑職とみられた広報・雑誌機能であるが、本年就任の皆様にはこれからのパイオニアとなって頑張ってもらいたいと激励された。

またITは今後の必須技能であり、年齢に拘泥することなく情報集約の手段として活用することを要請された。

ロ) ガバナー補佐の4名の方「田中東亜男、岩本行弘、桐本貢、木久和則各G補佐」

が、全体の代表として所感を述べられた。

時間制約のため寸評であったが、経験豊富な方々であるだけに、いずれの方々も1) 広報は、内部・外部とも強化の必要性

2) ITの基本技能の修得の必要性

3) 今年度の諸計画への熱意・・・等について、熱っぽく陳述された。

## 「5」 ガバナー講評・点鐘

最後に、ガバナーより、本日の盛り沢山の議題を真剣に話し合い、有意義な会議を持ったことに謝意を述べ、更に本日の諸計画をクラブの皆さんとともに精力的に実践する決意であることを力強く宣言され、点鐘された。



地区IT委員長 大村 充

さて、いよいよ新ロータリー年度が始まりました。

新委員長に就任させていただきました藤井寺の大村です。先に開かれました地区協議会の折に、初心と言いますか、心構えなどについてはお話しさせていただいておりますので、本日はできるだけ具体的に地区委員会のことと活動方針をお話しさせていただきます。

### 1) 委員会体制について

まず、本年の地区IT委員会は当初3人の少人数でスタートいたしました。これまで委員長として努力いただいたベテランの寺下さんをアドバイザーとしておむかえし、私が新米委員長、OA委員会の時代からの経験者、大森さんの3人でした。これは、本年は「改革」を骨としたいところがあるので、スピーディーに活動しよう、それには少人数で効果的に動き、意思疎通を緊密にしよう、という意味からコンパクトな委員会でいこうと私が決めました。その後、賛同いただける方から自薦をいただき、中谷さん、汐崎さんと5人で活動しております。

委員会体制については

クラブ支援をより強くスムーズに進めるために  
「4つの取り組みを軸に各担当が考え、推進する」

ホームページの企画	大村 汐崎
地区内データ管理、技術	寺下
IT研修	大森
雑誌広報との連携	中谷

と、このようになっております。進捗やアイデアは各担当が責任を持って進め、定期的な委員会内会議で進捗を報告、検討するというように組織づくりにも力を入れました。

後日、ホームページに当地区委員会の組織構成を掲載します。

のちほど各担当地区委員から発表してもらいます。

それと後ほども申し上げますが、IT委員会は情報の告知、記録、クラブIT化支援だけにとどまらず、考え方や意見などを積極的にホームページに取り入れ、広げて行く運動に取り組む所存です。

こちらは現在考えておりますことが

われわれロータリアンにとって非常におおきな意味を持つ根源的な問題「決議 23-34」の復活に取り組んでおられる中島パストガバナーはじめ諸先輩方々に協力いただき、みなさんに「決議 23-34」についての理解を深めるお手伝いをし、この大事なものが失われてもいいのか？否か？ということを考えていただけるコラムを地区ホームページに展開したいと思っております。もちろんプリントアウトしてクラブの例会の卓話等でも活用していただけるものにしますので、当地区の考えを他の地区でも知ることになります。大きな運動となる可能性のあるものと信じております。

## 2) 新ホームページについて

ご覧になられた方も多と思いますが、新年度から当地区ホームページのデザインが変わり、新しいメーヅになっています。

ここにホームページをプロジェクターで投射していますのでご覧ください。まず当委員会の活動の中心となるホームページについて触れます。

私たち 2640 地区ではかなり早い時期から地区ホームページを開設し情報の発信と活動記録に役立ててきました。

これまでの地区 IT 委員長さんや委員さんたちの努力で他地区とくらべても非常に充実したホームページを運営してきたのです。

本年度、新米 IT 委員長に私が就任した訳ですが、これまでの良い資産はこのまま地区の資産として受け継ぎながら、新米らしく雰囲気も含めてフレッシュアップしようとデザインに踏み込みました。

そして、雑誌・広報委員会の川村委員長さんからの具申でもある「ガバナーのメッセージをより強く伝える」ということを軸に「わかりやすい、使いやすいホームページ」をテーマにこのようなデザインで制作進行中であります。

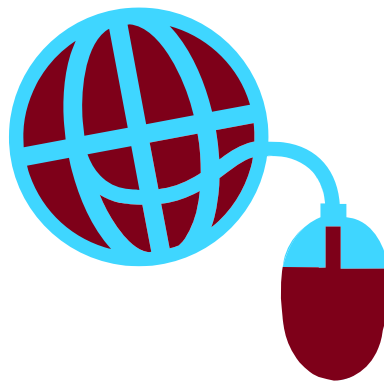
当地区ホームページは膨大なデータを格納する書庫のような役割を持っており、その書類ファイルやデータは非常に巨大なものとなっております。これを整理、再編集するには相当の労力を要しますので、鋭意進行しておりますが、まだできていない工事中のページがたくさんあります。この点、お許しください。

では画面を見ながら説明を加えます。



- 1) トップページに  
RI 会長、地区ガバナーメッセージ強化  
月信も大きなボタンで目立つように設置
- 2) 地区、クラブ、情報などを整理、ドアを開ける仕組み
- 3) メッセージを発信する  
増強へのアプローチ  
意見発表の場／理解促進
- 4) 使える情報を掲載
- 5) 情報のアップロードへの取り組み

今後もホームページの完成へ向けてがんばります。ご意見などありましたら各担当に具申ください。また記事があつてはじめてホームページのニュース機能を発揮できますので各クラブさま、よろしくお願いいたします。



財団奨学金小委員会

初めての財団奨学生は18名で1948年です、その原資は1947年1月27日ポールハリスの他界を知らせる、地区役員と国際役員への下記電文に始まります。

「PAUL HARRIS DIED TODAY STOP AM NOTIFYING ALL GOVERNORS AND REGIONAL OFFICERS OF DEATH AND PAUL'S SPECIFIC REQUEST TO OMIT FLOWERS AND INSTEAD MAKE CONTRIBUTIONS TO ROTARY FOUNDATION FOR PAUL HARRIS MEMORIAL STOP FUNERAL THURSDAY STOP」の一部訳、

故ポール・ハリスのリクエストは献花の代わりに財団ポール・ハリス記念基金への寄付です、と打電されたことによります。アーチ・クランプ元RI会長のロータリー基金（財団の前身）のアイデアがRI理事会で承認されてから最初の奨学生を送り出す原資を得るまで30年と言うより、ポール・ハリス他界の代わりとして、命を与えられたかのように動き出したこととなります。奨学生達は他の国のロータリアン達や人々と交わり親善大使として国際理解を深めてゆくわけです。ロータリー財団奨学金の特徴の一つは受入国にも顧問ロータリアンがいることで、受入国の中へ限られた留学期間でも入ってゆけることです、このことを、財団と他の奨学金両方を経験した学友が「財団奨学生は奨学金の何倍ものものを与えてくれた」と表現してくれました。又、本年カンサス市での地域財団奨学生オリエンテーションでアメリカの奨学生が財団奨学金を選んだ理由を同様に話していました。[ROTARIAN WHEN PERFORM GOOD DEED, QUIETLY,]ロータリアンは静かに善行を行う（陰徳）ということでしょうが、財団奨学生募集は大声でも静かでも結構です。また理想の奨学生も居ないでしょうが、これはと感じる若者をさがしてご推薦してください。

応募は簡単です。ガバナー事務所（073-428-2640）山本まで、懇切に説明いたします。募集期間は2009年一月からクラブ締め切り4月17日で地区への書類は5月8日です。





G S E委員長 中川 優

本日は、新年度初めてのクラブ財団委員長会議ですので、研究グループ交換（G S E）についてご理解を戴くために、昨年度の活動状況をご報告すると共に、G S Eの目的、内容、及び、候補者の推薦などについてお話ししたいと思います。お手元の研究グループ交換と書かれた資料をご覧ください。G S Eプログラムは事業と専門職務経験の浅い20~40歳の男女に、文化と職業交流のまたとない機会を提供するものと書かれています。期間は4~6週間で、現在の仕事をこの期間離れるには少し長いと思いますが、大変立派なプログラムとなっています。

ここで、昨年度に我々のR I 2640 地区とR I 1150 地区(南 Wales)で実施された様子をお伝えします。

まず、R I 2640 地区より団長(中川)以下4人のメンバーで2007.10.6~11.3まで、南ウエールズを訪問し、大学、小学校、幼稚園、特許事務所、議会場、博物館、旧炭鉱、お城などで科学、教育、文化、歴史などについて意見交換を行いました。それぞれの施設で、日本との類似点、相違点について議論を行い、日本での研究や教育に役立つことが多々見つかりました。また、対応していただいたロータリアン、特に、ホームステイ先のロータリアンと家族の方々には、日本では見られないアットホームな環境を提供していただき、団員一同、快適で有意義な日々を送ることができたと確信しています。

一方、R I 1150 地区(南 Wales)より団長(スティーブ)以下4人のメンバーで2008.3.29~4.27まで、南大阪、和歌山を訪問し、地元の病院、教育施設、文化施設、伝統産業あるいは高野山、京都及び奈良の世界遺産を体験あるいは見学し、日本のよさを堪能されたようです。また、ホームステイ先のロータリアン、及び家族の方々、あるいは担当のG S E地区委員の方々の骨おりにより、暖かいおもてなしをしていただきまことにありがとうございます。

彼らの日本での滞在の様子をブログで知ることができます。興味のある方は、一度、<http://japan2008gse.blogspot.com/>を覗いてみてください。また、まもなく出来上がる予定の2007-2008R I 2640 地区研究グループ交換報告書をご覧ください。感動の言葉や南ウエールズ、日本での活動内容を写真で伺い知れると思います。

さて、G S Eプログラムは、素晴らしいことをわかっていただけただけでしょうか。プログラムを成功させるには、皆様方、クラブ財団委員長通じての素晴らしい若者の推薦を必要とします。皆様方のクラブで、本資料(参加資格がございます)を参考に、条件にあった有能な若者のご推薦をよろしくお願いします。2009-2010 年度のプログラム候補として、南西フランス・ボルドー地区(ワインで有名)のR I 1690 地区が第一候補に挙がっています。プログラムが具体化し次第、相手地区、申請期限等を地区よりお伝えしますのでご協力の程よろしくお願いします。

## クラブ社会奉仕委員長会議をおえて

地区社会奉仕委員長 谷脇 良樹

猛暑の続く7月26日

新しい年度の始まりとともに今年度のクラブ社会奉仕委員長会議が当地区74クラブの委員長さん方を迎え開催されました。

とりわけ、勝野ガバナーの言うロマンと情熱を持ってロータリーをやってゆこうと言う気概十分あふれる雰囲気の中暑さをふっとばす如くあつい視線をうけて会議は順調に進みました。

ロータリー100周年の記念事業として行った「ロータリー100年の森林」先ごろ開催されました北海道洞爺湖サミットでも大きな議題だったCO2地球温暖化対策を環境保全の立場から何か行動をしてはと言う声が昨今よく耳に入ります。

当委員会の笹島アドバイザーが今回提唱した夕食後1時間位は一つの部屋で家族団らんをすれば、すぐに各々の部屋にこもってクーラーもTVも、もちろん電気も使う。

それが、ほんの少しだけでも少なくなってCO2対策になるのではと言うアイデアを披露してくれました。

全くその通りであります。

ひいては、家族の絆、今問題の親が子を、子が親を傷つけるそんな事件も少なくなると思うのですが。

社会奉仕に関する1923年の声明(23-34の決議)が手続要覧から削除されるということですが、これは我々日本のロータリアンにとって非常に大切な心構えの一つです。



社会奉仕活動はロータリーの顔であり、地域との繋がる大切な奉仕活動です。

そこから会員増強にも繋がると思います。

勝野ガバナーはロータリーは変わらねばと言っておられます。

月信のメッセージを見ても私はロータリーはとりわけ社会奉仕は袂を捨てて「ひらがな」の世界に戻る必要があるとも思います。

広く地域の方々に参加してもらえ、又その輪の中に我々が溶け込んでゆけるそんなロータリーの奉仕活動をめざして欲しいと思い、皆様方に訴え、お願いをした会議でありました。最後になりましたが、今回お願いしたアンケートと提言につきましては各クラブの皆様方には大変ご協力を頂きありがとうございました。

又、報告をしてくれました7RC(羽衣、海南、海南西、河内長野、富田林南、和歌山城南、和歌山南)の方々にも誌面をおかりして御礼申し上げます。

## 2008～2009 年度 クラブ会員増強（退会防止）、クラブ拡大委員会会議

地区会員増強（退会防止）委員長 小林 信夫

8月2日、猛暑の中、和泉市において勝野ガバナー、P G 平原クラブ奉仕部門カウンセラーP G 亀岡クラブ拡大カウンセラー、ガバナー補佐の皆様、クラブ増強委員長の皆様、各担当委員の皆様多数の御出席のもと、13時30分より開会されました。

勝野ガバナーの挨拶と増強についての方針と在任中のお礼。

亀岡P Gの会員基盤の強化は「夢をかたち」にからの講演

小林委員長 挨拶と現状報告

豊澤拡大委員長 挨拶と現状報告

14時30分より 6グループ別によるディスカッションが行われました。

15時20分より グループ別のディスカッション発表

各グループ待ち時間 5分

短い時間の中で有益な意見が活発に交わされました。

- 1、会員一人一人に入会推薦状を渡す
- 1、グループ別に分けて推薦する
- 1、入会のしおりに作る
- 1、地域によってはクラブ数が多すぎる。人口10万人に1クラブが適当
- 1、J・Cよりの入会の会員がグループをつくるので制限
- 1、会員数が50名 適当な会員数なので増やさない
- 1、無理な増強は逆効果、質の低下
- 1、女性会員の入会を否んでいる。クラブがあるのでやめてほしい。
- 1、新しい業種の台頭があり探して入会を勧める

16時00分 点鐘閉会

有難うございました

# 拡大について

地区拡大委員長 豊澤 洋太郎

本年度の拡大委員会の基本姿勢

本年度から3年間かけて情報収集、および他地区の新クラブ結成の研究を行う。また地区拡大委員1名で1クラブを結成する可能性を試みる事となりました。多難な事で御座いますが、皆様方にもご協力をお願いし是非達成させたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

- ①堺・泉南地区におけるモーニングクラブの研究。
- ②堺・泉南地区におけるイブニングクラブの研究。
- ③学友と女性を対象にしたクラブの研究。
- ④退会者と退職者を対象としたクラブの研究。
- ⑤和歌山地区を対象としたモーニングクラブの研究。

これからの定款・細則などの変更、CLP等、現在進行中の試験的なプログラムの行方なども、皆様方と共に研究や情報の交換を行いたいと思います。



## RI 公共イメージ支援グループ研修セミナー開催

国際ロータリー公共イメージ支援グループ・アジア地域のゾーンコーディネーター研修セミナーが、7月26日(土)に台湾・台北の神旺大飯店で開かれ、RI 第2690地区からは、倉敷ロータリークラブの橋本譲 RDG(第3ゾーンコーディネーター)が出席しました。

このセミナーには日本から、主催者の京都伏見ロータリークラブ田岡久雄会員(アジア担当エリアコーディネーター)および3人のゾーンコーディネーター、それに、インド・シンガポール・香港・韓国など7人のゾーンコーディネーターが出席、また、Pauline Leung アシスタント・ジェネラルコーディネーターやゲストとして RI 広報部の Howard Chang メディア担当スペシャリスト、台湾出身の Jackson Hsieh RI 理事らも参加、RI から提示されている D.K. Lee RI 会長年度の公共イメージ向上作戦を、それぞれのゾーンの实情に合わせてどのように展開していくかなどについての具体策が協議されました。

詳細については、他のエリアでの協議事項とともに一度 RI にフィードバックされ、オーソライズされたものが、それぞれのゾーンコーディネーターを通じて各地区に連絡されることになっています。



左から J.C.H eung (第4ゾーン)、田口絢子(第1ゾーン)、司葉子(第2ゾーン)、橋本譲(第3ゾーン)、J. Hsieh(RI 理事)、P. Leung(Assi.Gen.C)、田岡久雄(Area C[アジア担当])、H. Chang(RI 広報部)、H.S. Yim(第9ゾーン)、D.C. Wu(第6ゾーン)、A.C. Peter(第5ゾーン)の各氏

## 2010～2011 国際ロータリー第2640地区 ガバナーノミニー確定宣言

2010～2011年度ガバナーノミニー候補者の推薦について、平原年度ガバナー月信第10号で公示致しましたが、2008年5月1日の締め切りまで正式の推薦がありませんでした。

地区ガバナー指名委員会は協議の上、堺フェニックスロータリークラブ会員 米田 眞理子君を国際ロータリー第2640地区2010～2011年度ガバナーノミニーとする事に決定致しましたので、ここに宣言いたします。

2008年8月18日

国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 勝野 露観



国際ロータリー第2640地区

ガバナー 勝野 露観 様

2010～2011年度の国際ロータリー  
第2640地区ガバナーノミニーに指名されました  
ことを謹んでお受け致します。

平成20年8月8日

堺フェニックスロータリークラブ

米田 眞理子

米田眞理子

### 米田 眞理子君の略歴

氏 名 米田 眞理子 (よねだ まりこ)

生年月日 1949年5月1日

住 所 堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16

TEL:072-223-8778 FAX:072-223-6067

学 歴 大阪府立大手前高等学校卒

大阪大学 薬学部薬学科卒

### 職 歴

1972年 大阪大学附属病院 薬剤部

1980年 米田薬局開局 (堺市)

1989年 (株) 東湖 代表取締役

2001年 (有) イーストレイク代表取締役

〔(社)堺市薬剤師会副会長 等公職多数〕

### ロータリー歴

1997年 堺フェニックスRC 入会

1998年 クラブ国際奉仕委員長

1999年 クラブ副会長

2001年 クラブ幹事

2002～05年 地区米山記念奨学委員

2003年 地区ポリオプラス委員

2006年 クラブ会長

地区会員増強退会防止委員

2007年 地区米山奨学事業委員長

2008年 地区米山奨学事業委員長

\* ベネファクター MPF 2回

\* 米山功労者 5回

## 岩手・宮城内陸地震災害義援金 集計

単位：円

有 田	80,000	岸 和 田	50,000	堺フェニックス	20,000
有 田 南	30,000	岸 和 田 東	52,000	堺 清 陵	18,000
有田2000	10,000	岸 和 田 北	15,000	泉 南	30,000
藤 井 寺	12,000	岸 和 田 南	8,321	新 宮	39,766
藤井寺しゅら	11,000	粉 河	11,242	白 浜	16,000
御 坊	38,104	高 野 山	90,745	忠 岡	14,000
御 坊 東	20,000	串 本	10,000	太 子	10,000
御 坊 南	30,000	松 原	30,528	高 石	50,000
羽 衣	50,000	松 原 中	6,000	高 師 浜	20,000
阪 南	13,000	美 原	17,520	田 辺	50,000
橋 本	27,000	那 智 勝 浦	21,000	田辺はまゆう	30,000
岩 出	10,000	大 阪 金 剛	25,000	田 辺 東	30,000
和 泉	37,000	りんくう泉佐野	27,000	富 田 林 南	22,000
泉 大 津	45,000	堺	5,500	和 歌 山	26,000
泉 佐 野	40,000	堺 東	22,000	和歌山アゼリア	20,430
海 南	50,000	堺 泉 ケ 丘	24,289	和 歌 山 東	30,000
海 南 東	35,000	堺 北	50,000	和 歌 山 城 南	31,000
貝 塚	20,000	堺 南	30,000	和 歌 山 北	24,500
貝塚コスモス	63,000	堺 中	23,580	和 歌 山 南	100,000
関西国際空港	17,000	堺 西	22,000	和 歌 山 中	22,000
河内長野東	100,000	堺おおいずみ	21,000	和 歌 山 西	9,710
				和 歌 山 東 南	28,751

以上、64クラブより計 1,942,986 円義援金をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

各 位 殿

国際ロータリー第2640地区  
2009～2010年度  
ガバナー 村上 有司  
代表幹事 吉田 透

拝啓

日頃は、ロータリー活動に多大の御協力をいただきありがとうございます。

さて、2009年～2010年度ガバナー一年度に向け、万般の準備に取り組んでいます。  
その一環として、今般ガバナーエレクト田辺事務所を、下記の通り開設する運びとなりました。御案内申し上げますと共に、益々の御引立をお願いします。

合掌

記

1. 開設日 2008年9月10日(水)
2. 住 所 田辺市湊1593番地
3. 電話番号 0739-25-2640
4. F A X 0739-34-5750
5. メ ー ル gabanatanabe@spice.ocn.ne.jp

以上

# 新入会員紹介

7 月



むかい よしこ  
**向井 孝子**

所属クラブ：御坊南RC  
職業分類：花小売  
生年月日：1951年10月27日



はなかわ つよし  
**花川 豪**

所属クラブ：羽曳野RC  
職業分類：人材派遣  
生年月日：1964年1月14日



ありもり こうぞう  
**有森 孝造**

所属クラブ：橋本紀ノ川RC  
職業分類：工業材料配布  
生年月日：1950年5月8日



よしだ かつひこ  
**吉田 勝彦**

所属クラブ：橋本RC  
職業分類：電力供給  
生年月日：1958年3月28日



とべ まさと  
**戸部 正人**

所属クラブ：和泉RC  
職業分類：染色加工  
生年月日：1950年2月14日



ふじた まさひこ  
**藤田 正彦**

所属クラブ：和泉RC  
職業分類：毛糸紡績  
生年月日：1955年11月13日



はなえだ みきお  
**花枝 幹雄**

所属クラブ：泉佐野RC  
職業分類：公認会計士  
生年月日：1976年9月2日



きかわ けいこ  
**木皮 慧子**

所属クラブ：串本RC  
職業分類：賃貸業  
生年月日：1933年6月21日



まつした ゆうじろう  
**松下 裕次郎**

所属クラブ：那智勝浦RC  
職業分類：自動車販売・修理  
生年月日：1966年5月19日



いぬい やすお  
**乾 康夫**

所属クラブ：河内長野東RC  
職業分類：歯科医  
生年月日：1960年11月23日



やまだ ひろみつ  
**山田 博光**

所属クラブ：大阪金剛RC  
職業分類：私立大学  
生年月日：1928年5月10日



おおかわ こうじ  
**大川 光次**

所属クラブ：りんくう泉佐野RC  
職業分類：ホテル  
生年月日：1949年11月17日

 <p>やまのうち しゅういち <b>山ノ内 修一</b> 所属クラブ：堺北RC 職業分類：社会保険労務士 生年月日：1949年7月29日</p>	 <p><b>山本 悦司</b> 所属クラブ：堺中RC 職業分類：金属加工 生年月日：1962年9月5日</p>
 <p>はやみず じゅんや <b>速水 純也</b> 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：清掃業 生年月日：1937年3月22日</p>	 <p>やまもと よしひろ <b>山本 佳弘</b> 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：鉄工業 生年月日：1958年12月4日</p>
 <p>つじこ よしのり <b>辻子 義則</b> 所属クラブ：和歌山RC 職業分類：通運 生年月日：1952年4月25日</p>	 <p>あかい まさや <b>赤井 雅哉</b> 所属クラブ：和歌山東RC 職業分類：冷暖房設備 生年月日：1964年9月17日</p>
 <p>ほりえ ひでゆき <b>堀江 英行</b> 所属クラブ：和歌山城南RC 職業分類：酒類販売 生年月日：1960年6月5日</p>	 <p>にった ゆういち <b>新田 勇一</b> 所属クラブ：和歌山城南RC 職業分類：生命保険 生年月日：1962年9月5日</p>
 <p>たなか まさひこ <b>田中 正彦</b> 所属クラブ：和歌山南RC 職業分類：農林中金 生年月日：1966年5月28日</p>	





## PHF・ベネファクター（7月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
坊岡 進	11	有田南	伊藤 利之		大阪金剛
久志本 東	2	藤井寺しゅら	井出 俊一	2	大阪金剛
八尾 清隆	BE	羽曳野	吉野 惣太	BE	堺泉ヶ丘
秦 信寛		貝塚コスモス	八木 重喜		堺西
覚野 博夫	7	岸和田	尾崎 幸雄	2	新宮
肥後 眞弘	5	岸和田	小池 忠男	4	富田林

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

## 米 山 功 労 者（7月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
八尾 清隆	3	羽曳野	杉多 弘至	5	富田林
野村 慎	6	白浜	越井 康之	1	富田林南
多屋 平彦	4	田辺	岡本 昭三	9	和歌山南

# ハイライトよねやま 102号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2008年8月13日発行

1. 寄付金速報 — 今年度も好調なスタート！ —
2. もうすぐ募集開始！ — 2009 学年度の指定校が決定 —
3. お待たせしました！今年も『豆辞典』を発行します
4. ホームカミング制度の申請状況
5. あなた方のように生きていきたい！ — 奨学生からのメッセージ —

## 文庫通信 (252号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会記念講演より

- ◎「世界の現状と日本の針路」 奥田 碩 (D.2760 地区大会) 2007 15p
- ◎「今、日本が直面する内外の課題」 櫻井よしこ (D.2570 地区大会) 2007 10p
- ◎「世界の潮流と日本の進路」 寺島実郎 (D.2660 地区大会) 2007 9p
- ◎「国家の品格」 藤原正彦 (D.2650 地区大会) 2007 4p
- ◎「新政権でも改革と挑戦は続く～求められる幾百人のリーダーたち」 佐々木 毅 (D.2540 地区大会) 2007 8p
- ◎「地域から交流する日本～オホーツクへの期待」 月尾嘉男 (D.2500 地区大会) 2007 3p
- ◎「歴史から見た大阪～浪華の民活」 松平定知 (D.2660 地区大会) 2007 4p
- ◎「自然のすごさに学ぶ」 石田秀輝 (D.2800 地区大会) 2007 20p
- ◎「夢をもたらず氷の世界」 本堂武夫 (D.2510 地区大会) 2007 8p
- ◎「人と地球の命のためにー今、私たちにできること」 C.W.ニコル (D.2820 地区大会) 2007 6p

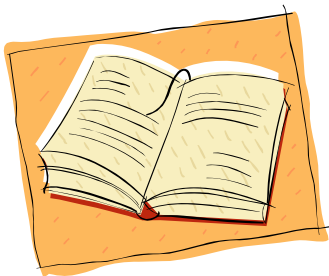
[申込先：ロータリー文庫 (コピー) ]

### ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

# 第2640地区 出席報告 (2008年7月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	7月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	7月出席率	平均出席率
	08.7.1	7月末	7月	累計	7月	累計					08.7.1	7月末	7月	累計	7月	累計			
有田	36	36	0	0	0	0	5	93.07	93.07	大阪金剛	29	30	1	1	0	0	5	87.08	87.08
有田南	33	33	0	0	0	0	5	97.93	97.93	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	5	92.00	92.00
有田2000	16	16	0	0	0	0	6	79.17	79.17	りんくう泉佐野	27	27	1	1	1	1	4	75.68	75.68
藤井寺	12	12	0	0	0	0	5	89.96	89.96	堺	79	79	0	0	0	0	5	88.67	88.67
藤井寺しゅら	16	16	0	0	0	0	4	90.60	90.60	堺東	32	32	0	0	0	0	5	97.86	97.86
御坊	53	53	0	0	0	0	4	93.97	93.97	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	5	81.72	81.72
御坊東	20	20	0	0	0	0	5	86.00	86.00	堺泉ヶ丘	20	20	0	0	0	0	5	97.00	97.00
御坊南	28	29	1	1	0	0	5	85.05	85.05	堺北	36	37	1	1	0	0	4	78.12	78.12
羽曳野	27	27	1	1	1	1	5	85.38	85.38	堺南	33	33	0	0	0	0	3	90.81	90.81
羽衣	22	22	0	0	0	0	5	90.88	90.88	堺中	26	27	1	1	0	0	4	73.00	73.00
阪南	13	13	0	0	0	0	5	98.46	98.46	堺西	22	22	0	0	0	0	5	81.25	81.25
橋本	54	55	1	1	0	0	5	94.78	94.78	堺おおいずみ	30	30	0	0	0	0	5	80.95	80.95
橋本紀ノ川	20	21	1	1	0	0	5	89.30	89.30	堺フェニクス	22	22	0	0	0	0	5	77.64	77.64
岩出	28	28	0	0	0	0	5	98.57	98.57	堺清陵	24	24	0	0	0	0	4	95.24	95.24
和泉	39	41	2	2	0	0	5	89.47	89.47	堺泉北	10	10	0	0	0	0	5	91.43	91.43
和泉南	33	33	0	0	0	0	4	68.18	68.18	堺東南	12	12	0	0	0	0	5	88.89	88.89
泉大津	50	50	0	0	0	0	4	84.44	84.44	泉南	18	18	0	0	0	0	4	85.70	85.70
泉佐野	37	38	1	1	0	0	4	87.10	87.10	新宮	57	57	1	1	1	1	5	88.71	88.71
海南	45	45	0	0	0	0	4	71.67	71.67	白浜	15	15	0	0	0	0	4	100	100
海南東	68	68	0	0	0	0	3	80.60	80.60	忠岡	13	13	0	0	0	0	5	69.09	69.09
海南西	22	22	0	0	0	0	5	89.09	89.09	太子	9	9	0	0	0	0	3	79.16	79.16
貝塚	19	19	0	0	0	0	5	92.22	92.22	高石	29	29	0	0	0	0	4	72.00	72.00
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	5	83.81	83.81	高師浜	20	20	0	0	0	0	5	88.42	88.42
関西国際空港	32	32	0	0	0	0	5	68.39	68.39	田辺	87	87	0	0	0	0	5	89.32	89.32
河内長野	29	29	0	0	0	0	4	85.00	85.00	田辺はまゆう	36	38	2	2	0	0	4	81.29	81.29
河内長野東	27	28	1	1	0	0	5	91.43	91.43	田辺東	50	49	0	0	1	1	4	92.70	92.70
岸和田	51	51	0	0	0	0	5	77.45	77.45	富田林	34	34	0	0	0	0	5	80.77	80.77
岸和田東	54	54	0	0	0	0	4	91.49	91.49	富田林南	21	21	0	0	0	0	5	82.10	82.10
岸和田北	27	27	0	0	0	0	4	100	100	和歌山	75	76	1	1	0	0	5	87.35	87.35
岸和田南	21	21	0	0	0	0	5	92.38	92.38	和歌山アゼリア	42	43	1	1	0	0	3	85.19	85.19
粉河	19	19	0	0	0	0	5	97.78	97.78	和歌山東	55	56	1	1	0	0	5	99.57	99.57
高野山	22	23	1	1	0	0	4	96.25	96.25	和歌山城南	38	40	2	2	0	0	4	89.59	89.59
串本	9	10	1	1	0	0	5	79.10	79.10	和歌山北	49	49	0	0	0	0	3	75.36	75.36
松原	36	36	0	0	0	0	4	85.87	85.87	和歌山南	86	87	1	1	0	0	4	88.46	88.46
松原中	25	25	0	0	0	0	4	78.26	78.26	和歌山中	28	28	0	0	0	0	4	84.52	84.52
美原	26	26	0	0	0	0	4	88.70	88.70	和歌山西	22	22	0	0	0	0	5	95.24	95.24
那智勝浦	20	21	1	1	0	0	5	82.00	82.00	和歌山東南	37	37	0	0	0	0	5	89.14	89.14

クラブ	7月1日クラブ会員数				7月末クラブ会員数				7月平均出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2247	女性	130		7月	累計	7月	累計
74	2357				2377				86.69	24	24	4	4

## 9 月 新世代のための月間 (New Generations Month)

1日	(月)	公式訪問:海南・海南東・海南西RC(夜)	海南商工会議所
2日	(火)	公式訪問:橋本・橋本紀ノ川・高野山RC(夜)	橋本商工会館
3日	(水)	公式訪問:御坊・御坊東・御坊南RC(夜)	御坊商工会館 4F
4日	(木)	公式訪問:大阪狭山RC(夜)	丸三雪陵庵
5日	(金)		
6日	(土)	地区情報・規定委員会会議 第1回クラブ青少年交換委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
7日	(日)	インターアクトリーダーシップフォーラム IM2 組米山委員長会議	松原高校 金屋文化保健センター3F 研修室
8日	(月)		
9日	(火)	公式訪問:和歌山・和歌山アゼリア・和歌山西RC(夜)	
10日	(水)	公式訪問:阪南・泉佐野・関西国際空港・りんくう泉佐野・泉南RC(夜) 田辺 ガバナー事務所開設	全日空ゲートタワーホテル 田辺
11日	(木)	公式訪問:堺北西南西RC(夜)	もず野
12日	(金)		
13日	(土)	第2回クラブローター-財団委員長会議および国際親善奨学生帰国報告会	JR和泉府中駅前 うお健ビル
14日	(日)	クラブ職業奉仕委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
15日	(月)		
16日	(火)		
17日	(水)	公式訪問:河内長野・河内長野東RC(夜)	河内長野商工会館
18日	(木)	公式訪問:堺・堺北・堺西RC(昼)	リーガロイヤルホテル堺 春慶の間
19日	(金)		
20日	(土)	I.M.8 組	
21日	(日)	クラブ世界社会奉仕委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
22日	(月)	公式訪問:和歌山北・和歌山東RC(夜)	和歌山東急イン
23日	(火)		
24日	(水)	公式訪問:有田・有田南・有田 2000RC(夜) 米山奨学生、高野・竜神温泉研修ツアー	
25日	(木)	↓ 公式訪問:白浜・田辺・田辺はまゆう・田辺東RC(夜)	紀伊田辺シティープラザホテル
26日	(金)		
27日	(土)	第2回諮問委員会 2008~09年度長期受入学生へのオリエンテーション	JR和泉府中駅前 うお健ビル 竹林院群芳園(奈良県吉野)
28日	(日)	↓ 2009~10年度長期派遣学生地区選考試験および面接 派遣学生の保護者に対する説明会(学生と保護者が参加)	テクスピア大阪
29日	(月)		
30日	(火)		

### 国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F  
 T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0  
 F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3  
 E-m a i l info@rid2640g.org  
 U R L http://www.rid2640g.org/katsuno/  
 勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)  
 S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦  
 事務職員 山本千恵子 平田有紀子

